



まちづくり懇談会を 開催しました

8月28日(水)、留萌市中央公民館講堂にて、令和6年度1回目となるまちづくり懇談会を開催し、市内外から67人が参加しました。

特集

問 市・政策調整課

TEL 42-1809

第1部 市からの情報提供

① 留萌市の財政状況

将来の施設更新に向けて、借金は計画的に減少しています。

市といたしましては、今後も借金の実負担と財政力をしっかりと見極めながら、財政運営を進めていきます。



② 高齢者市内バス無償化実証実験事業

70歳以上の市民の皆さんを対象に、留萌市内でのバス利用時の運賃の無償化を行っています。利用期限は令和7年3月31日までとなります。



③ 帯状疱疹予防接種助成

50歳以上の市民の皆さんを対象に、帯状疱疹予防接種の助成をしています。市立病院と民間の医療機関で受けられますので、希望する方はご予約ください。



④ 産前・産後支援事業

4月から助産師を雇用することができたため、母子の心身の安定と育児不安の解消を図るため、6月より産後ケア事業「ホッ♡とママ教室」を実施しています。



⑤ 新交流複合施設整備基本構想(案)

旧JR留萌駅跡地に、新交流複合施設を建設することを検討しています。こちらには、市役所各庁舎、市中央公民館、市文化センターを移転する構想です。



⑥ 水道ポータルサイト導入事業

水道事業では現在、検針員が歩いて水道使用量を検針していますが、利便性向上や検針の効率化を図るために、水道ポータルサイトとスマートメーターの導入を進めています。



⑦ 留萌高校の間口維持・確保

子どもたちが高校を卒業するまでは地元に残り、家族とともに大切な時間を共有してもらいたいという思いから、市からの支援などを行いながら留萌高校の間口維持・確保に取り組んでいます。

※9月3日に北海道教育委員会が公表した「公立高等学校配置計画」の中で、留萌高校については、今年度の道立高等学校入学選抜における2次募集後に普通科について4学級から3学級に減となっていましたが、来年度の募集については、4学級を維持して募集することが決定しました。



まちづくり懇談会の開催結果や配布資料については、市ホームページでもご覧いただけます。また、YouTube（ユーチューブ）に当日の動画をアップロードしておりますので、ぜひご覧ください。

ホームページのQR▼



YouTubeのQR▼



第2部 質疑応答（一部抜粋）



Q. 増毛町民 新交流複合施設をJR留萌駅跡地に建築することの安全性をどう考えているか。



A. 中西俊司市長 あくまで基本構想ということで、これまでの議論の積み重ねを踏まえたうえで現在、各方面に交渉できているということをご理解いただきたい。

防災という面で昭和63年にあった洪水、そして今心配される地震による津波については、河川整備が進んでおり、昭和63年当時とは状況が変わってきている。

留萌ダムができ、大和田には遊水地があるということで、非常に確率的には低くなってきている。

ハザードマップというのが作成されており、最低限の防災拠点となりうる施設の建設というのは、かさ上げをしたり、防水壁をつくって施設内に水が入ってこないようにするという設備の整備は必要となってくる。

今後、北海道の方からもハザードマップが出されるかと思うので、そういったものも重ね合わせながら、地域にとって安全な施設だと思ってもらえるよう皆様にお話ししていきながら、これからの基本計画に反映させていきたいと考えている。

Q. 市民 今後、どのように市立病院を運営にしていく方針か。



A. 中西俊司市長 市立病院の現状としては、医師確保という問題に直面しているところ。

市としては、道内にある医育大学、札幌医科大学、旭川医科大学、北海道大学などに医師等の派遣をお願いしているところだが、全体的に大学病院で医局に残る医師が少なくなってきている状況であり、なかなか派遣が難しくなってきている。

そこを補うために出張医という形を取らせていただいているところだが、皆様のご不満等もあろうかというふうに思っている。

ただ最低限の救急であったり、小児科、産科、こういった部分については、出張医体制を取りながら確保していかなければならないと思っており、将来的にもこの市立病院をどう守っていくのかということが、市民が安心して暮らせるまちづくりにつながってくるかと思うので、市としては、全力で医療について多方面に検討しながら、医療を守っていくことに努めていきたい。

Q. 市民 分別によってごみ収集全体のコストダウンを図れているのか、あるいはこれからコストダウンして、ごみ袋の料金が上がらないような方策に結びついているのか。



A. 大和俊賢都市環境部長 留萌市においては、いち早くリサイクルというものに取り組み、市民の皆様にはご協力をいただいているところだが、分別の種類が多いというご指摘もいただいている。

今後については、現在、小平・留萌・増毛の3市町で新しいごみの焼却施設の建設を検討しているところであり、どのようにしたら環境に優しい形にできるのか、カーボンニュートラル（温室効果ガスの排出量と吸収量を同じにして実質ゼロにすること）が進められるのか考えているところ。

現時点では、ごみ袋等の値上げは考えていないため、今後とも皆様のご協力をいただきながら、細かいごみ分別でリサイクルを進めていきたいと思っている。